

令和3年第4回市議会定例会

## 市長提案理由

(令和3年11月29日提案)

令和3年第4回市議会定例会の開会に当たり、市政諸般の御報告を申し上げ、ただいま上程されました諸議案の概要について、御説明いたします。

新型コロナウイルス感染症は8月中旬をピークに減少傾向となり、秋の行楽シーズン到来とともに人々の動きも活発化してきました。大分県農林水産祭や大分国際車いすマラソンは2年ぶりに、また市関係では、「マーチング・カーニバル in 別府2021」や「ONE BEPPU DREAM AWARD 2021」などが開催され、再びにぎわいが戻ってきました。中でも10月に大分市で開催されたラグビー日本代表対オーストラリア代表の国内テストマッチは、久しぶりの大規模なスポーツイベントで、多くのラグビーファンが観戦を楽しみました。別府市では、ラグビー日本代表チームの合宿に続き、ジャパンラグビーリーグワンの4チームが合宿を行っており、ラグビーワールドカップ2019のレガシーがしっかり受け継がれていると感じているところです。

経済面では、昨年度に引き続き「べっふ帰ってきたエール券」を販売し、市民生活の経済支援と消費喚起による市内商業の活性化を図ります。1冊5,000円で販売し、プレミアム率30%の6,500円分の商品券で、発行部数は前回の16万冊を超える20万冊、販売額は13億円となっています。前回と同じく、一般商店専用と大型店等でも使える共通券の2種類の券で構成され、地元での消費を促進します。今後も新型コロナウイルス感染症の第6波に備え、常に感染再拡大への対策に徹底して取り組むとともに、経済活動の活発化を目指します。

大分県では、小型人工衛星の打ち上げ拠点「宇宙港」に選定された大分空港において、打ち上げに向けた動きが本格化しています。来年2月には、国内最大規模の宇宙国際会議である「第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS） in 大分別府大会」がビーコンプラザで開催される予定です。さらに、早ければ来年中に第1号機が大分空港から打ち上げられることも予定されています。今、このアジア初の水平型宇宙港やその関連行事など、大分県では

宇宙産業を盛り上げる機運が高まってきています。日本有数の温泉地である本市には、宇宙産業に携わる技術者や見学者など、たくさんの方が訪れ、観光消費効果が高まることも予想されます。宇宙港に係る新たな産業の創出に向けた「別府スペースバレー」という新しい構想について、実現に向けた取組を始めます。

新型コロナウイルス感染症のワクチンについては、まずは医療従事者を対象に3回目の接種が12月下旬から始まります。市内の状況では、11月24日時点で全人口に対して2回の接種を終えた人は76.2%と高い水準で完了しています。11月以降、規模は縮小しつつも、まだ接種していない方が接種できる体制も継続していきます。

別府市PCR検査センターについては、12月31日までの開設としていましたが、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少傾向ではあるものの、年末年始や連休等による人々の往来が増えることも想定されますので、センターの開設を1月16日まで延長します。それ以降の開設等については感染状況などを注視しながら判断してまいります。

市民生活では、「中規模多機能自治」の構築を進めています。複雑・多様化する地域課題の解決に、地域や関係団体、行政などが連携して取り組む中、市内7つの全ての地域に「ひとまもり・まちまもり協議会」が立ち上がり、それぞれの特性をいかした地域づくりを進めています。コロナ禍で人が集まることが制限され、希薄になりがちだった地域の交流が少しずつ戻ってきています。10月には初めて7つの協議会が参加する連携会議を開催し、今後の活動にいかしていくため、体制づくりや防災・防犯事業などについて、各協議会の取組の紹介や課題の共有を行いました。また、11月からは、各地域で「ひとまもり・まちまもり懇談会」を開催し、地域の方と直接お話しする機会をいただいています。今後も更に連携、協働による地域づくりを進めてまいります。

次に行政のデジタル化についてです。

9月にはデジタル庁が発足し、今後ますます国を挙げて行政のデジタル化が急速に進展することが予想されます。別府市では今年6月に「B E P P U×デジタルファースト推進計画」を策定し、スマートフォンを利用して、いつでもどこでも行政サービスの手続ができる環境の整備に取り組んでいます。同時にデジタルに不得手な方がデジタル化の波から取り残されないことがないよう、デジタル知識の習得に挑戦していただくための「スマートフォン講座」を実施しています。また、業務を自動化するR P Aの導入を積極的に進めるなど、デジタル化により効率的な行政運営を行い、窓口でのきめ細やかな対応に専念できるよう取り組んでいます。

デジタル化の推進は他市とも連携を図ってまいります。別府市、杵築市、日出町は、それぞれの知見や経験の活用を図りながら相互に連携協力することにより、デジタル社会の実現に寄与することを目的として、「別杵速見地域D X推進に関する基本協定」を締結しました。今後は協定に基づき情報共有や人材育成を進め、協力することで相互に技術を高め合い、事務を効率化し、市民サービスの向上に努めます。

また、防災の分野では、避難所運営を支援するため別府市で開発したシステムをオープンデータとして公開し、他の自治体でも活用できるようにしました。自治体を越えたデジタル化の推進にも積極的に貢献していきます。

新型コロナウイルス感染症が拡大して以来、状況が落ち着いた後は全国の方に選んでいただけるようにという思いで、アフターコロナを見据え、湯の花レターなどの別府の魅力を発信する取組を行ってきました。国の新たな政策や変化する社会情勢に対応しつつ、コロナ対策にもしっかりと取り組みながら、準備してきたことをできるときに迅速に実行してまいります。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明いたします。

はじめに、一般会計補正予算ですが、今回補正する額は、15億500万円の増額で、補正後の予算額は577億3,270万円となります。

その主なものとして、今年度末をもって指定管理者の指定期間が満了を迎える公の施設に係る来年度以降の指定管理料及び本市観光ウェブサイトをリニューアルするための経費について、債務負担行為を計上しています。

総務費では、湯のまち別府ふるさと応援寄附金の増加に伴う関係経費の追加額及び別府市国際交流会館の売払収入等を公共施設再編整備基金に積み立てることに伴う基金積立金の追加額を計上しています。

民生費では、事業所や利用者の増加に伴う自立支援給付費及び障害児通所給付費の追加額を計上しています。

衛生費では、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を12月から開始することに伴い、当該接種に係る所要額を計上しています。

商工費では、大分空港において、小型人工衛星の打ち上げに向けた動きが本格化していることに伴い、宇宙産業の将来的な発展を見込み、別府スペースバレーの実現に向けた調査費を計上しています。

次に、特別会計では、競輪事業において、売上金の増加に伴う関係経費の追加額を計上しています。今回の補正額は、34億4,740万円の増額で、補正後の特別会計予算の総額は589億1,447万3千円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要です。

次に予算外の議案について、御説明申し上げます。

予算外の議案については、「条例関係8件」、「その他12件」の計20件を提出しています。

議第92号「別府市手数料条例の一部改正について」は、長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正により、容積率の特例許可申請に係る審査手数料を定めること等に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 9 3 号「別府市手数料条例及び別府市印鑑条例の一部改正について」は、個人番号カードを利用した印鑑登録証明書のコンビニ交付を実施すること及び印鑑登録証明書等をコンビニ交付する場合の手数料を定めることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 9 4 号「別府市国際交流会館の設置及び管理に関する条例の廃止について」は、別府市国際交流会館の売払いをすることに伴い、条例を廃止しようとするものです。

議第 9 5 号「別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例及び議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例の一部改正について」は、ウェイトリフティング場を設置すること及び当該施設を長期かつ独占的な利用をさせようとするときは議決を要する施設とすることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 9 6 号「別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法に基づき条例を定めるに当たり従うべき基準等を定める内閣府令の一部を改正する内閣府令が訂正されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 9 7 号「別府市国民健康保険条例の一部改正について」は、健康保険法施行令等の一部が改正され、出産育児一時金等の金額が改定されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 9 8 号「別府市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、自転車駐車場を追加することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第 9 9 号「別府市道路占用料徴収条例等の一部改正について」は、大分県道路占用料徴収条例が改正されたことを踏まえ、道路占用料等を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第100号「建物の売払いについて」は、別府市国際交流会館の売払いをすることについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるものです。

議第101号「旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて」は、大分県が施工する別府一の宮線災害防除工事による用地買収に伴い、対象土地の旧慣を廃止することについて、地方自治法第238条の6第1項の規定により議会の議決を求めるものです。

議第102号から議第109号までの「指定管理者の指定について」は、指定管理者に公の施設の管理を行わせることについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第110号「事務の委託の協議について」は、消防指令業務に係る事務を大分市に委託することについて、地方自治法第252条の14第3項において準用する同法第252条の2の2第3項本文の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第111号「市長専決処分について」は、コロナ禍での市民生活の支援と地域経済の活性化を図るため、令和3年度別府市一般会計補正予算（第7号）を、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、市長において専決処分しましたので、同条第3項の規定により議会に報告し、その承認を求めるものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。